

# 合い言葉はレガシー・持続性・機能性

## 平成27年度NUC欧州ユニフォーム視察報告

公益財団法人日本ユニフォームセンター（NUC）は、「欧州ユニフォーム視察」を5月29日から6月4日まで6泊7日の日程で行いました。5月初めにイタリア・ミラノで開幕した「2015ミラノ国際博覧会（ミラノ博）」を視察するとともに、ローザンヌにあるオリンピック博物館を見学。次いでイギリスのロンドンではニューハム区・グリニッジ区等オリンピックの運営を行った自治体のようにオリンピック・パラリンピックを成功させたかのレクチャーを受けました。その後オリンピック・パラリンピックの各競技場を見学。また、ロンドン博物館では、実際に着用されたユニフォームについて幅広く見聞しました。あらまは以下の通りです。

日程表

	月日（曜）	都市名/地名	スケジュール
1	20125年 5月29日（金）	東京 ミラノ	空路、ヘルシンキ経由でミラノへ ＜ミラノ泊＞
2	5月30日（土）	ミラノ	ミラノ国際博覧会視察 ミラノ市内視察 ＜ミラノ泊＞
3	5月31日（日）	ミラノ	ローザンヌローザンヌ視察（オリンピック博物館） ＜ローザンヌ泊＞
4	6月1日（月）	ローザンヌ ロンドン	ローザンヌ視察 空路、ジュネーブからロンドンへ ＜ロンドン泊＞
5	6月2日（火）	ロンドン	＜終日視察＞ ①オリンピック関連施設への視察 ②オリンピックユニフォーム関連の視察 ＜ロンドン泊＞
6	6月3日（水）	ロンドン	空路、直行便にて東京（羽田）へ ＜機中泊＞
7	6月4日（木）	東京	羽田空港着 羽田空港にて解団式

団員名簿（敬称略）

1	団長 公益財団法人 日本ユニフォームセンター	石井 銀二郎
2	副団長 ツカモトユーエス株式会社	百瀬 二郎
3	副団長 株式会社チクマ	芳賀 博一
4	東レ株式会社	中原 仁子
5	丸紅メイト株式会社	三津田 泰
6	株式会社ユニコ	小椋 豊樹
7	株式会社高島屋	小山 泰秀
8	株式会社三景	澤津 順司
9	清原株式会社	巻瀧 大
10	株式会社マキシン	渡辺 百合
11	日本毛織株式会社	田中 謙二
12	株式会社マーケテック	水本 未央
13	イズミ産業株式会社	今泉 善徳
14	株式会社ダイイチ	鈴木 健太
15	株式会社アイリス	大隅 友樹平
16	株式会社ユニウェル	大熊 英男
17	サンリッチモード株式会社	小町 優子
18	サンリッチモード株式会社	宮村 孝子
19	伊藤忠商事株式会社	山下 眞護
20	公益財団法人 日本ユニフォームセンター	小林 浩



ミラノ万博会場内での記念撮影



ミラノ万博日本館

■ 嬉しいメッセージ

ミラノ博の日本館には、農林水産省を筆頭に、四季を通じた日本食とその文化に交わる様々な知恵や技が紹介されていました。そこには、食という人類共通の課題解決に貢献する姿勢と、未来を切り拓こうとする逞しいメッセージが伺えました。隣接した日本食レストランでは、入館者に美濃吉、柿安、モスバーガーが和食などを提供されておりました。JETROの日本館担当の方々からは、日本館アテンダントのユニフォームは、着用者はもちろんのこと、来場者からも好評とのことでした。



日本館アテンダント

■ 友情と平和のシンボル

ローザンヌのオリンピック博物館には、五輪に関する歴史や歴代の競技用ユニフォーム、トーチ、メダルなどが、多数展示されていました。



オリンピックの起源は、世界七不思議の一つである「ゼウス像」にあり、ゴールの全てはこの像に向かって設置されていた。聖火リレーは友情と平和のシンボルとされている——などの話を聴きました。オリンピック博物館入口の電光掲示板にすでに「TOKYO 2020」の文字が掲示されていました。



ローザンヌオリンピック博物館



東京オリンピックポスター

■ グリーンな五輪

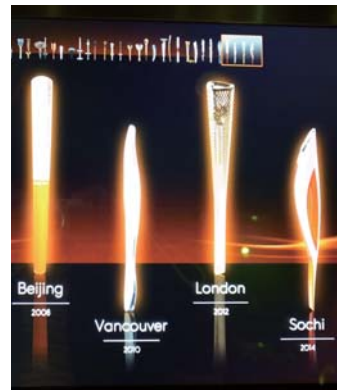
ロンドンではオリンピックの関連施設を見て回るとともに、ニューハム区・グリニッジ区では、当時の担当者にどのようにオリンピックを成功させたのかを聴取。2012年大会の成功は、国、地方自治体及び、市民やボランティアが統一された組



グリニッジ区視察 王立公園



ロンドンオリンピックメダル



近年の聖火

織の下一体で取り組んだことで実現したとのこと。施設は既存の活用と新設の両面で考慮。レガシーとして後世に残すことを念頭に、終了後も持続的に使用できるように配慮したそうです。一方で選手村だった建物は大会後、キッチンを加えて2800戸の住居にリフォームしたものが販売されました。また環境問題に配慮した「グリーンな五輪」を目指すため、公共交通機関の利用を促すなど、CO<sub>2</sub>の削減に心掛けたそうです。

■ オール・ポリエステル素材を採用

ロンドン五輪・パラリンピックのボランティア用ユニフォームは、トータル7万人分に達したそうです。生産数がありにも多く、価格的な問題から、素材はほぼすべてのアイテムでポリエステルを採用。ODA（オリンピック・デリバリー・オーガナイザー）が製品ごとに分け

て発注しました。ロンドン博物館に展示されたロンドン五輪・パラリンピックのユニフォームについては、ファッション及



ロンドン五輪ボランティア

び衣類関係のキュレーターである、ティム・ロング氏から説明を受けました。説明を受けたいくつかの競技、聖火ランナー、ボランティア、ロンドン・アンバサダーなどのユニフォームは、いずれも実際の着用者の方々に寄贈されたものでした。



ロンドン五輪ボランティア



キュレーターからのプレゼンテーション

■全身スパンコール

そのうちロンドン五輪女子体操段違い平行棒で銅メダルを獲得したエリザベス・トウエドルが着用したユニフォームは、ステラ・マックカーターがデザインしたもの。全身スパ

ンコールのレオタードですが、肩線や袖下、脇の縫い代で各選手のサイズに調整するようになっていきます。選手に支給された12着のうちの1着を寄贈して頂いたとのこと。常設展示場には、競泳200メートル平泳ぎのマイケル・ジェーミソンの競泳パンツも展示されていました。デザインでした。



体操レオタード



聖火ランナーユニフォーム

聖火ランナー用のユニフォームは、最終ランナー7人のうちの1人であるアデル・トレイシーが着用したものの。英選手団が開会式で用いた白×金のトラックスーツを黒×金に変え

てありました。白は実績のある選手、黒は成長が期待される若手選手のイメージを意味したようです。その他の選手用ユニフォームは、企業デザイナーや学生のコンペと、様々なデザイナーが携っていました。

者もいたため、サイズは2〜18展開になったとの説明がありました。ロンドン・アンバサダー3万人の応募者の中から8000名が採用されました。

■7万人に2セットずつ貸与

ボランティア用は、大会運営ボランティア「ゲームズ・メーカー」用と専門知識を持った観光ボランティア「ロンドン・アンバサダー」用の2種類でした。ゲームズ・メイカー用は、レッド×パープルのユニフォーム。アディダス社製です。半袖ポロシャツ(赤×紫、雨衣(同)、キャップ(同)、パンツ(ベージュ)、ソックス(白)、スニーカー(白)安全ベスト(オレンジ)、バッグ(黒)が、ワンセットのものを2セット支給されました。素材はポリエステル100%ですが、パンツは再生ポリエステルやナイロンも使われました。

■カラーに運動性

ウインドブレイカーのポケットに設けた、ウォーターボトルの安定、サイズ調節で裏面に設けた紐、名札的なものを付ける部分の脱着——などの機能性に対する評価は高かったと言います。また、着用者には推奨ヘアスタイルなども盛り込んだスタイルブックを配布したそうです。

ロンドン・アンバサダー用は、ACCOC社製。半袖ポロシャツ(ピンク×紫)、裏付フリースジャケット(同)、雨衣(同)、キャップ(同)、帽子(ベージュ)がワンセットで渡されました。ポトムスは黒の私物を着用されたとのこと。車椅子の着用



トラベル・アンバサダー



ロンドン五輪ボランティア

ユニフォームのカラーを紫に決めたのは、ALOCOG(ロンドンオリンピック・パラリンピック組織委員会)でした。2008年頃から検討を開始し、新聞紙上で「イギリスらしい色は何色?」といったアンケート調査を実施した上です。「紫は果たしてイギリスらしい色?」との疑問も残りましたが、チケットや広告に利用されていたことから、運動性を持たせたようです。



クウェート



カザフスタン



オーストリア



アメリカ

写真から見た  
ミラノ万博各国の  
パビリオンユニフォーム



中国



スペイン



スロバニア



スロバキア



スイス

写真提供  
サンリッチモード株式会社  
(中国館／中国浙江雅莹集团有限公司)  
写真／五十音順



ロシア



リトアニア



ブラジル



フランス